



今年も梅雨の季節がやって来ました。ジメジメと湿度が高く、蒸し暑い日本の夏です。私達人間は汗をかくことで体温調節が出来ますが、犬には体温調節用の汗腺は、足の裏などごく一部分に限られています。また、分厚い毛皮を着てたりするので、犬は暑さに弱い動物です。中でも、マズルと呼ばれる鼻づらの、短くつぶれた鼻ぺちゃ顔の犬達は特に暑さに弱いのので、早目に冷房を利用して、温度管理に注意してあげましょう。

**独特の愛嬌がある顔つきで、
日本でも根強い人気の短頭種**

JKC(一般社団法人 ジャパンケネルクラブ) の2015年、犬種別の犬の登録頭数順位でも、7位：シーズー／10位：フレンチ・ブルドッグ／14位：バグ／16位：キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル／19位：ペキニーズ／25位：ボストン・テリア／28位：ブルドッグ／30位：狎 などと、とても人気があります。

夏季は飛行機に乗れない短頭種

日本航空・全日空・エアドゥなどの日本の航空会社だけではなく、シンガポール・アメリカ・ヨーロッパなどの航空会社も、期間を限定している場合もありますが、原則短頭種の預かりを中止しています。他の犬種と比べて熱中症になるリスクが高く、危険だからです。

ブル(牛)ドッグにまつわるお話……

シーズー・狎・ペキニーズなどに代表されるアジア系の短頭種は、もともとチベットや中国で古代からずっと仏教の思想に基づいて、大切にされてきた犬種です。聖なる伝説の動物「獅子」に似せた外見になるよう、作られて来ました。

一方、アメリカ原産のボストン・テリアやヨーロッパのフレンチ・ブルドッグなどの祖先に当たるブルドッグは、イギリスで、牛(ブル)と戦う闘犬競技に使うために改良されて来ました。牛に噛みつきやすいように顎を発達させ、一度噛みついたら離さないまま呼吸が出来るように、顎より鼻づらを短く改良してきた結果が、現在の鼻ぺちゃの顔を作り出したのです。

犬の祖先はオオカミ説が有力で、犬はもともとオオカミのように長い鼻づらをしていました。つまりブルドッグは、究極に人の手で品種改良されて来た犬種の一つになります。

もちろん現在のイギリスは、動物愛護の先進国です。闘犬競技

は禁止です。ペットの社会的地位はとても高く、電車やバスなどの公共交通機関に人間と一緒に歩いてそのまま乗っていますし、室内で家族として一緒に暮らしています。日本では日本犬などは昔から庭につないで外飼いしていますが、イギリス人から見たら虐待だと思われかねません。

現在、ブルドッグはイギリスの国犬で、イギリス海軍のマスコットキャラクターとしても親しまれ、大変大切にされている犬種の一つです。

イギリスの有名なことわざ

子供が生まれたら犬を飼いなさい。
子供が赤ん坊の時、子供の良き守り手となるでしょう。
子供が幼年期の時、子供の良き遊び相手となるでしょう。
子供が少年期の時、子供の良き理解者となるでしょう。
そして子供が青年になった時、
自らの死をもって子供に命の尊さを教えるでしょう。



「愛犬家住宅」づくりのご相談先